

□□□□1. □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□**2018**

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

1. □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□



VIDEO

2. 「基本的行動指針」の提示

蕁麻疹診療ガイドライン2018における 「基本的行動指針」の新設

- 診療ガイドラインとは、「診療上の重要度の高い医療行為について、エビデンスのシステマティックレビューとその総体評価、益と害のバランスなどを考慮して、患者と医療者の意思決定を支援するために最適と考えられる推奨を提示する文書¹⁾」と定義されている²⁾
- 「具体的な医療現場における行動のための意思決定に資することが必要²⁾」との考察から、「基本的行動指針」の章を新設した
- この章は、臨床現場における行動の決定を支援することを目指して作成され、「～する」「～てはならない」「～ても良い」といった語尾を持つ19の推奨文により構成されている²⁾

2. 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

2. 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇

□□□□

3. 推奨度とエビデンスレベル

蕁麻疹診療ガイドライン2018の推奨度とエビデンスレベル

推奨度	説明	推奨度とエビデンスレベル	臨床的意義
1: 強い推奨 (recommend)	推奨された治療によって得られる利益が大きく、かつ、治療によって生じる負担が軽微と認められる。	1A	根拠のレベルが高く、治療によって得られる利益は大きく、かつ、生じる害や負担が軽微と認められる。したがって、医師は、推奨した治療を行うことが勧められる。
2: 弱い推奨 (suggest)	推奨した治療によって得られる利益の大きさは不確実である、または、治療によって生じる害や負担が軽微と認められていると考えられる。		
エビデンスレベル	研究デザイン	説明	
A (高い)	- 複数の高い、かつ、多数が一致した結果の無作為化比較試験 - 無作為化比較試験のメタアナリシス	結果はほぼ確実であり、今後研究が新しく行われても結果が大きく変化する可能性は少ない。	1B 1C
B (中)	- 不一致な結果の無作為化比較試験 - 低い証拠のある、または、少数の無作為化比較試験 - 非無作為化比較試験* - 多数が一致した結果の前向き比較試験や観察研究**	結果を支持する研究があるが十分ではないため、今後研究が行われた場合に結果が大きく変化する可能性がある。	
C (低い)	少数の前向き比較試験や観察研究、症例報告、専門家の意見	結果を支持する確度の低い研究がない。	2A 2B 2C

[推奨度の説明: 高いから低いまでエビデンスレベルは本ガイドライン2018年版の標準に基づき]

*1: クロスオーバー比較試験を含む

**2: ランダム化比較試験以外の観察研究、または、非無作為化比較試験や観察研究として評価したものを指す

Copyright © 2018 Japanese Society for Allergy and Clinical Immunology (JACI). All rights reserved.

3. 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

3. 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇

□□□□

4. 病型分類の実施方法

蕁麻疹の主たる病型¹⁾

- I. 特発性の蕁麻疹 spontaneous urticaria
 - 1. 急性蕁麻疹 acute spontaneous urticaria (発症等6週間以内)
 - 2. 慢性蕁麻疹 chronic spontaneous urticaria (発症等6週間以上)
- II. 刺激誘発型の蕁麻疹 (特定刺激ないし食物により皮膚を誘発することができる蕁麻疹) inducible urticaria^{*}
 - 1. アレルギー性の蕁麻疹 allergic urticaria
 - 2. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー FDEIA
 - 3. 非アレルギー性の蕁麻疹 non-allergic urticaria
 - 4. アスピリン蕁麻疹 (不耐症による蕁麻疹) aspirin-induced urticaria (urticaria due to intolerance)
 - 5. 物理性蕁麻疹 physical urticaria (機械性蕁麻疹 mechanical urticaria, 寒冷蕁麻疹 cold urticaria, 日光蕁麻疹 solar urticaria, 温熱蕁麻疹 heat urticaria, 遅延性圧蕁麻疹 delayed pressure urticaria, 水蕁麻疹 aquagenic urticaria)
 - 6. アリン性蕁麻疹 cholinergic urticaria
 - 7. 接触蕁麻疹 contact urticaria
- III. 血管性浮腫 angioedema
 - 1. 特発性の血管性浮腫 idiopathic angioedema
 - 2. 刺激誘発型の血管性浮腫 inducible angioedema (振動血管性浮腫 vibratory angioedema を含む)
 - 3. ブラジキニン誘発性の血管性浮腫 bradykinin mediated angioedema
 - 4. 遺伝性血管性浮腫 hereditary angioedema (HAE)
- IV. 蕁麻疹関連疾患 urticaria associated diseases
 - 1. 蕁麻疹様血管炎 urticarial vasculitis
 - 2. 色素性蕁麻疹 urticaria pigmentosa
 - 3. Schritzer症候群およびクワリリン関連発熱性皮膚病群

* 蕁麻疹の分類は、本分類以上、慢性蕁麻疹は特発性蕁麻疹を含む慢性 urticaria に付随される。

4. □□□□□□

4. □□□□□□

□□□□

□□□□

□□□□□□□□

□□□□□

□□□□

□□□□□□□

□□□□

PFS□□□□

00000000

00000000000000

000000

00000000000000000000

Image



Source URL: https://loadtest.pro.novartis.com/products/xolair/urticarial/guideline_02